

A テーマ1 まちの賑わい、商店街の魅力づくり

・グループリーダー

まずはみなさんで、留萌に住んでみて街のにぎわいがあるか、商店街にどのような魅力があるのかをお聞きしたいと思います。

・市民

自分の出身は旭川です。先日30名ほど旭川の友人が留萌に来てくれたが食に関しては、安くておいしいと言っていた。

まちのにぎわいに関しては、数の子条例にしてもそうですが、外部に対してのPRが必要だと思う。留萌市の食べ物は全道、全国でも負けないと思う。

食べる場所が少ないという声もあがっていたが、観光客がくるようにPRが必要ではないか。留萌で買い物をするが不便な点はない。にぎわいとなると、30万人都市、200万人都市と比べると難しいところはあるが、満足はしている。

・グループリーダー

もっと留萌をPRすることで人のにぎわいをもっと大きくなるのではないかといったご意見でした。ありがとうございます。

それでは次の方がいかがでしょうか。

・市民

苦言のようになってしまいますが、市民会議としてつくりあげたものと今回の意見交換会によって意見がぶつかったときにどちらが優先されるのか危惧しています。市民会議でも話しましたが、留萌市として何をしなくてはならないかということと地域間競争に勝たなくてははいけません。そうしなくては街のにぎわいもないし、経済の発展もない。

・グループリーダー

ありがとうございます。それでは次の方がいかがでしょうか

・市民

街のにぎわいを目指すのであれば、各団体同士の連携が大事ではないか。

そして各商店街も知恵をだしあい、土日にシャッターを閉めるのではなく、なんとかしなくてはならない。お金がそんなにあるわけではないので、協力しあい知恵をだしあい労力を惜しまないことが大事だと思います。

「仕掛け方」によって街のにぎわいがでると思います。

・グループリーダー

それでは具体的なアイデアをだしていただければと思います。

・市民

商店街に賑わいをだしていくためには、商店街の人たちが今後どのように商売をしていきたいかがポイントになるとおもいます。人口減少に伴い売り上げも減っているために土日は店のシャッターを下げているのかもしれない。

商店街の方々とも話し合う場を設けて総合計画に反映させたらよいと思います。

A

テーマ2 老後の暮らし

- ・グループリーダー

皆様それぞれ老後の不安を抱えていらっしゃると思いますが、現状みなさまが困っている点等ありましたら、おききしていきたいと思います。

- ・市民

現在母親と一緒に住んでいる。町内会活動やコミュニティ活動を活発にしてお年寄りが外に出やすい環境をつくってあげたほうがよい。

- ・市民

独居の不安、認知症の不安があります。これらは大きな問題だが解決策がないのが現状。誰がやるのかを仕掛けることが大事。

- ・市民

それぞれの地域に、お年寄りの居場所作りが必要

- ・市民

いつまでも住み続けたいまちづくりはみんなそれぞれ考えている。

留萌には140の町内会があるので、コミュニケーションがはかれる場をつくるのが重要と考える。

- ・市民

両方とも過去を振り返ることが必要とかがえます。昔の商店街は人が集まってみんなでわいわいやっていたが今は違う。